

函館市バス生活路線維持費補助金の見直しについて

1. 経過

市内の路線バス運行にあたっては、地域公共交通の維持確保のため、国・北海道・市で役割分担しながら路線補助を実施してきたところであるが、人口減少や少子高齢化の進行に加え、昨年来コロナ禍により市民生活が激変するなか、市電や路線バス等の公共交通の利用状況にも大きな変化が生じており、持続可能な公共交通の確保の観点から、対象路線のうち、函館市生活交通路線（市単独補助路線）に係る補助制度の見直しを行うものである。

2. 市内路線および補助対象路線

路線種別	令和2年9月時点 路線数	令和4年(推計) 路線数
市内走行路線	9 1 路線	9 1 路線
(うち、赤字路線)	(7 2 路線)	(7 3 路線)
市内完結路線	4 4 路線	4 4 路線
(うち、赤字路線)	(3 3 路線)	(3 3 路線)
国・道・市協調補助路線	3 路線	3 路線
道・市協調補助路線	3 路線	7 路線
市単独補助路線（現行制度）	5 路線	5 路線
補助対象路線 計	1 1 路線	1 5 路線

3. 令和4年度以降の補助制度

現行の「特定路線の赤字を補助」から、市民や市内への通勤・通学者が主に利用する路線の維持を目的とした「市内完結路線の全赤字路線について赤字額の3分の1を補助」へと変更し、市民等の生活の足を広い範囲で支えていくこととする。

項目	現行	変更後
補助対象路線	下記全てを満たす路線 ・函館市内完結 ・国や道の補助の対象外 ・北海道策定の3か年計画に登載された赤字の路線 ・平均乗車密度5人以上 (※一部例外規定あり)	下記全てを満たす路線 ・函館市内完結 ・国や道の補助の対象外 ・北海道策定の3か年計画に登載された赤字の生活路線
補助金額	経常費用の9/20を上限とした対象路線の運行にかかる赤字額	対象路線の運行にかかる赤字額の3分の1

4. 補助金の推移（市単独補助路線分のみ）

年度	路線数	補助金額
平成30年度	9 路線	7,497 千円
令和元年度	9 路線	6,766 千円
令和2年度	6 路線	5,992 千円
令和3年度（見込）	5 路線	5,154 千円
令和4年度（予算）	3 3 路線	38,521 千円